

信篤三つ葉学園の小中一貫教育の取り組み ～3校の連携を深める取り組みの推進～

令和4年4月に、高谷中学校ブロック（高谷中学校、信篤小学校、二俣小学校）小中一貫型小学校・中学校※通称「信篤三つ葉学園」がスタートしました。

信篤三つ葉学園では、これまでに新たな教科「わが町・未来探究科」や中学校教員による「体育」、「美術」、「国語」の乗り入れ授業、小学校同士による授業交流などの小中一貫教育に取り組んでいます。

今回は、令和5年度に実施した取り組みの中から、9月の下旬に実施した「高谷中学校の部活動見学会」についてご紹介します。

この取り組みは、小学生が中学校に入学する前に、中学校のことを少しでも多く知ってもらい、中一ギャップ緩和のための一助とすることなどを目的として、6年生を対象に実施をしました。

少人数のグループに分かれ、14部ある全ての部活動を1時間かけて見学しました。



【バスケットボール部の見学の様子】



【吹奏楽部の見学の様子】

見学を終えた6年生からは、「中学生は、目標を持って努力しているように見え、私も中学生のようになりたい。」など、部活動への活動意欲の向上に繋がる感想が多くありました。

また、「部活動で、どんなことをしているのかが、よく分かった。」など、中学校のことを知るよい機会になったという感想や、「中学生がとても親切に教えてくれたり、話しかけてくれたりして、うれしかった。」「高谷中に入って部活をするのが楽しみになった。」など、中一ギャップの緩和につながる感想もありました。信篤三つ葉学園の交流を深めるとともに、子どもたちにとっても貴重な経験となったようです。

信篤三つ葉学園では、今後も、3校が連携した取り組みを進め、小中一貫教育を推進していきます。

※「小中一貫型小学校・中学校」とは、正式な学校名や校舎などは、今までと変わることなく、義務教育学校に準じた形で義務教育9年間を一貫して教育ができる学校です。